

平成30年 10月28日（日）幹事会議事録

司会進行：藤田

出席役員：小西、花上

出席幹事：1, 2, 4, 5, 6, 7, 8, 9地区幹事

テーマ：①役員改選に関して

②自主防より

① 役員改選に関して、小西さんより役員会で話された提案事項を説明

*次期会長は、現役員の中から決めていく。

*部会長に関しては、現幹事会の中から出してほしい。

*会則を見直して、二年交替制を徹底してほしい。

*決め方は、難しいが、役員は、つまり、部会長は、誰でも出来る部会長を目指して、活動してきているので、なった人が好きなように、部の仕事をしていけば良い。

*丸山会長より、今春の幹事会で改選の提案があり、時期尚早と意見もあったが、現在すでに、10月。具体的な動きが必要である。

*会長の仕事は、ヘビー？という意識は、変えてほしい。是非、新陳代謝をしていきたい。

*会則の見直しも視野にいれて、動いていく。

以上の話を受けて、幹事の方の意見は、いかが？

星野：役員から会長を選ぶのは、結構。部会長を幹事会からというのは、無理ではないか？班長も含めた人数ではいかが？

辻：仕事の量は、減らしていくべき。

環境・交通安全部のパトロール隊も実質、16名中8名で、実際、やらなくても良いのでは？

文化・健康推進部の活勉強会も主催者でなくても、良いのでは？健康の問題は、最近、テレビ等の番組でも為になるし、本当に必要な人は、出て来られない。

音楽会もサポートをするような形にすれば良いのでは？見直して仕事を減らせば、後任探しも楽ではないか？

藤田：防災の例を挙げると、年、40～50回のミーティングをしている。

防災力を高めていく必要は、あるので、自主忘をなくす事は出来ない。

小西：会員管理の複雑性？斉藤さんに任せっきりは、いかがなものか？

毎月チェックが、必要なので、地区にまかせてはどうか？結果を役員に提出していく。名簿作成をボトムアップの方法でしていくべき。すべてをホームページで管理する。

石田：スマホ、パソコンを扱えないものには、無理。

仕組みを考えてほしい。

川原：ダイヤランド区民の会は、函南町の自治会で、任意団体である点を忘れてはならない。常住者が住みよい環境にするためにスタート。当時、斉藤さんにしか出来なかったもので、そのまま、現在に至っている。住民で、若い人が増えているのに、区民の会に入って来ないのが問題。幹事と班長の中から推薦の形はどうか？

5地区は、現在、輪番制でうまくいっている。

会員名簿を整理していく。

{区民の会}の名前を変えてはどうか？

？：班長の役目が重い。総会の成立が厳しすぎる。委任状を集めるのが大変。

出席者の半数の賛成で、成立するようにすればよくないか？

川原：地区によって、事情が違う。

区をなくすと、行政サービスが受けられなくなり要請も出来ない。

幹事・班長の中から投票するのはいかが？

藤田：時間もきたので、この辺まで、次回、12月の区民会議で、具体的方向性をかため、決めていきましょう。

② 自主防に関して、プリントに即して。

自主防の青木さんより、プリントに即して、説明。

*防災倉庫の備品の補充、交換に関して、

全部の倉庫を全部、点検していくのは、大変、各地区に任せてはどうか？

備品の補充を幹事会の時にするとか？方法を考えていくべき。

*11月11日（日）の総合防災訓練の開催に関して

プリント参照

花上裕子